

シリーズ

埼玉の隠れた銘品百選

52

直実なおぎね 特別純米 (権田酒造株式会社)

暑さで有名な熊谷は、水のまちでもある。この土地で接近する利根川と荒川が幾度となく氾濫して形成された複雑な地層が、清浄な伏流水をもたらしている。また、ちょうど20年前の2004年、埼玉農林総合研究センターは10年余りの歳月をかけて、酒米「さけ武蔵」を作出した。この良き水と埼玉の米から生まれたのが、熊谷唯一の酒蔵、権田酒造株式会社の「直実 特別純米」である。4年におよぶ試行錯誤を経て、権田清志社長（六代目）は「やや辛口で飲み飽きしない、冷でも燗でもおいしいお酒」に仕上げた。

権田酒造の創業は嘉永3年(1850年)。中山道を辿って東国に進出した近江商人の流れを汲むという。以来、「清太喜きよたき」の銘で酒造りをしてきたが、昭和40年代、郷土の先達にちなむ「直実」の銘に切り替えた。熊谷次郎直実は、平安・鎌倉期に活躍し、源頼朝公から「日本一の剛の者」と称賛された武将。源平・一ノ谷の合戦では若き平敦盛を討取りつつも深い情けを示し（「平家物語」）、それは歌舞伎「一谷嫩軍記ふたば」の題材にもなっていく。熊谷の酒の名として、これ以上にふさわしいものはない。

六代目社長を支えるのは、後継者である権田直仁専務と拓弥常務。東京農大・醸造科学科出身で杜氏も務める直仁さんは、「権田酒造 170年の伝統を守って人の手をかけていく。自ら納得できる酒を発信していきたい」としている。



写真上から「麴」「糴入れ」「槽搾り」



■ 権田酒造株式会社

代表取締役 権田 清志
〒360-0843 熊谷市三ヶ尻 1491
<https://www.gondasyuzou.com>
(武蔵野銀行熊谷支店取引先)

